

## 8. 暮らしやすいまちづくり

### (29) 土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用の実現

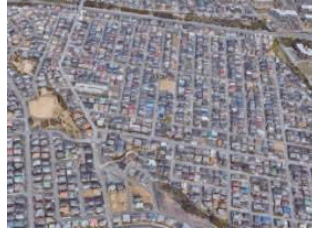
#### ここまで良くなってきました

都市・農村・森林が共生できる「新たな土地の管理と利用の仕組み」の構築に向けて、奈良県の今後の土地の管理と利用のあり方とその方向性について検討を進め、**新たな土地の管理と利用の仕組みの基本的な考え方を整理しました。**

#### ○県内で発生している諸課題



住宅と工場の混在



店等のない住宅地



耕作放棄地



施業放置林

#### ○目指すべき姿

##### 「適正な管理」

周辺住民の生命、身体、財産への危害の発生や、周辺地域の生活環境等への悪影響の発生を防止

##### 「合理的な利用」

地域の価値の維持・向上、地域経済の持続的な発展、県民が安心して快適に暮らすことができる地域社会の実現に資するよう、地域の諸条件に応じて、土地の効用を持続的に発揮

##### 「より効果的な利用」

土地のより高い効用の発揮が見込まれる場合に、若者の雇用やにぎわいの創出等を通じて地域の持続的な発展を実現するため、土地所有者や近隣住民等の協力の下、土地の効用を更に発揮

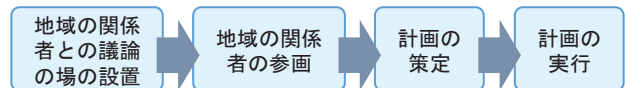
#### もっと良くするために

土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用の実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和5年3月に「**土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用により地域経済の発展及び生活の向上を図る条例**」を制定します。

- 奈良県版土地白書などによる、土地の管理と利用の状況等の情報発信
- 人材育成のための講習会の実施
- 相談窓口の設置など、行政と関係機関等が連携して地域を支援する仕組みの構築
- 審議会等による土地に関する施策の検証
- 地域の実情に応じた都市計画の見直しの実施

- 地域の関係者との議論により、土地の管理と利用に関する計画を策定・実行するボトムアップ型の取組の推進

ボトムアップ型の取組の流れ



条例の制定により取組を加速

土地の適正な管理、合理的な利用、より効果的な利用の実現



誇るべき風土の保全



適正に営農されている農地



適正に管理された森林



美しいまちなみ



暮らしやすいまち

令和5年度予算案 32百万円

## (30) 奈良県のすまい方改善

### ここまで良くなってきました

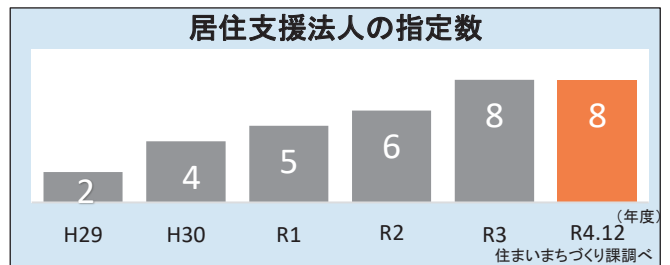
奈良県のすまい方に係る課題は、①**住民の高齢化**、②**住宅地での空き家・空き地の増加**、③**住宅の老朽化**です。新型コロナウイルスに起因する離職・収入減などの環境変化も踏まえ、**奈良県住生活基本計画・奈良県住生活ビジョン**等に基づき、奈良県のすまい方改善を実施してきました。

○近鉄大福駅周辺地区において、地域のまちづくりに合わせて県営住宅を建替



桜井県営住宅第1期

○高齢者世帯やひとり親世帯などの住宅の確保に配慮を要する方が、賃貸住宅等に円滑に入居し、安心して住まうことができるよう居住支援の取組を推進



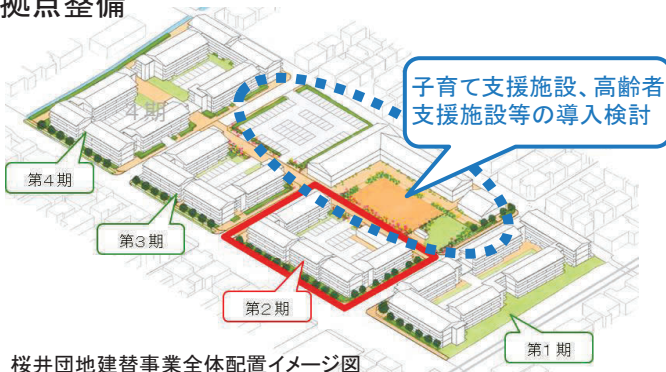
○新型コロナウイルスに起因する離職者等に県営住宅を提供等

○R4年2月に奈良県住生活基本計画を改定

### もっと良くするために

近鉄大福駅周辺地区において、**桜井団地建替事業(第2期)**と合わせて**桜井市と連携したまちづくりを進めます**。また、**老朽化した県営住宅の環境改善を実施します**。

○県営住宅の建替による近鉄大福駅周辺地区の拠点整備



桜井団地建替事業全体配置イメージ図

**住まい・暮らしのあり方に関する条例の制定や「奈良県住生活ビジョン」の改定を行います**。また、**地域課題の整理・見える化や空き家の活用等を通じ、地域の暮らしの課題の把握及びその解消を進めます**。

○各モデル地区において、地域課題の調査整理、空き家の適正な管理・流通の促進・活用を通じ、まちのリニューアルを推進



モデル地区イメージ

○県営住宅の大規模改修による居住環境及び安全性の向上



橿原県営住宅(外壁改修後)



テレワークスペース



移住定住促進

空き家活用イメージ

令和5年度予算案 994百万円 [債務負担行為 105百万円]

# (31) 県内の交通サービスの確保と利便向上

## ここまで良くなってきました

「奈良県公共交通基本計画」を令和4年3月に改定し、県民・来訪者の移動ニーズを支える県内公共交通とその拠点の実現を図る取組を進めています。また、**鉄道駅等のバリアフリー化**や、市町村による**コミュニティバス・デマンド交通の導入**等の取組を支援してきました。

○地域の関係者による公共交通サービスの見直し・改善や、市町村における計画策定・実証運行等への支援を実施



大宇陀南部ボランティア有償バス (宇陀市)



明日香村デマンド交通の導入

○駅の段差解消率 (目標:R7年度までに100%)  
・利用者数3千人/日以上以上の駅



※R3年度より利用者数2千人/日以上3千人未満でバリアフリー基本構想の生活関連施設に位置付けられた鉄道駅についても整備目標に追加

○ノンステップバス導入率 (目標:R7年度までに80%)



## もっと良くするために

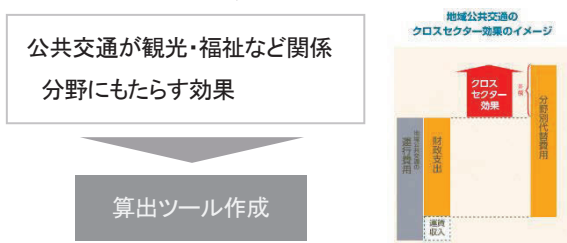
地域がより主体的に県内公共交通の維持・充実に参画する多様な取組を推進します。また、公共交通に関わる空間の質向上のため、鉄道駅のバリアフリー化等の一層の推進を図ります。

○「エリア公共交通検討会議」にて、公共交通全体の維持・充実について協議



地域の関係者が参画する「エリア公共交通検討会議」

○クロスセクターの算出ツール作成



○住民等の移動ニーズにきめ細かく対応する交通サービスの提供に向けた取組を支援

**令和5年度予算案 283百万円**  
**令和4年度2月補正予算案 70百万円**

○鉄道駅のバリアフリー化の一層の推進



エレベーター設置(坊城駅)



多機能トイレ(前栽駅)

○ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入を支援



路線バスに導入されたノンステップバス車両



車椅子での乗降に適したUDタクシー

○鉄道駅等を住民の交流の場や観光案内所として活用する取組を支援

○自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの実証実験を実施



自動運転車両の実証運行(三郷町)

## (32) 自治会等との連携協力強化

### ここまで良くなってきました

自治会の活動は、地域の安全・安心・防災・健康増進等にとって有意義で大事なものです。一方、住民の地域とのつながりの希薄化、担い手不足、高齢化等が自治会の課題となってきています。奈良県は、奈良県自治連合会との連携など取組を強化してきました。

- R元年度に県に自治会連携担当職を置き、自治会や市町村との情報共有、県政情報の提供等を実施
- 県自治連合会への加盟を働きかけ、R元年度以降、奈良市、天理市、宇陀市、広陵町が順次加入し、21市町村が参加
- 自治会支援のあり方について、市町村や自治会等と共に検討する「自治会・地域コミュニティ政策研究会」を実施
- 自治会の重要性や優良事例を共有する「奈良県自治会ジャーナル」を発行
- R3年度はコロナ禍の下、地域の防災訓練の支援(2市町村)、安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣(2回)を実施

奈良県自治連合会加盟市町村

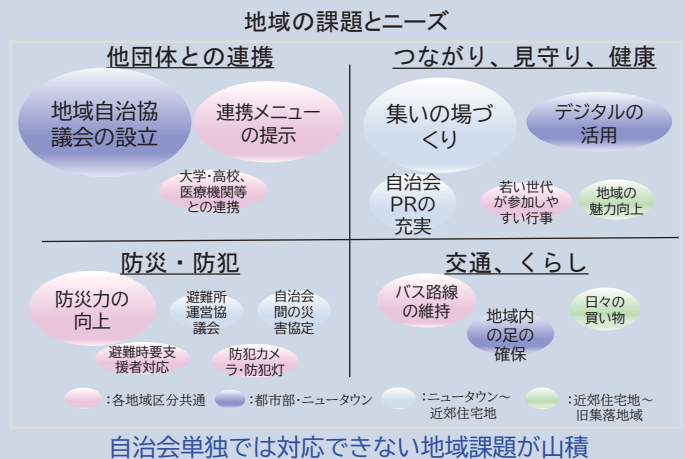


### もっと良くするために

自治会の地域における重要な役割に鑑み、県と自治会との連携協力を充実するとともに、新たに自治会等の連携を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。

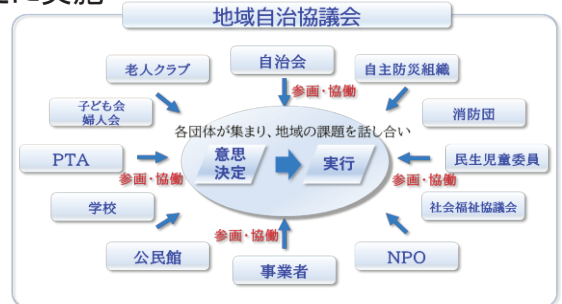
- 自治会等と他の地域団体との連携による取組を促す「自治会等連携補助金」を創設
- 地域自治協議会の設立を支援するモデル事業を新たに実施

#### R5年度の新たな取組について



連携と住民参加による地域活動の広がりが必要  
これを踏まえ、具体的な施策を実施

- ①自治会等と地域団体との連携による取組に対して補助
- ②多様な地域団体が連携する地域自治協議会の設立を支援



- 奈良県自治連合会が行う研修や情報共有等を支援するとともに、連携して各自治会の取組を促進



県自治連合会と知事との懇談会



自主防犯・防災リーダー研修

令和5年度予算案 13百万円

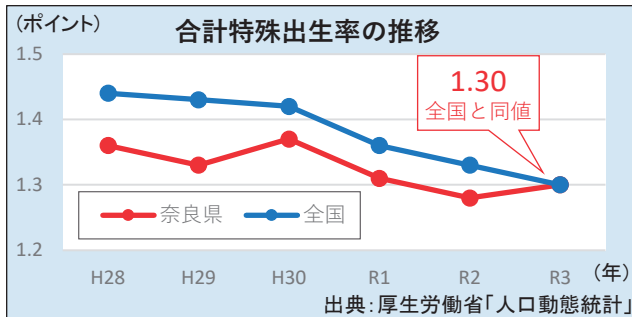
## 9. 地域で子どもを健やかに育てる

### (33) 子育てと仕事を普通に両立できる社会の実現

#### ここまで良くなってきました

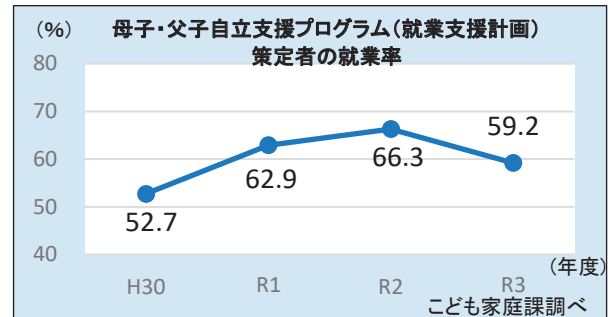
安心して子育てできる「家庭」と「地域」をつくり、夫婦が一体感を持って子育てできる環境整備が進んでいます。

- 地域子育て支援拠点設置箇所数  
73箇所(R3年度)→75箇所(R4年6月)
- 合計特殊出生率が上昇



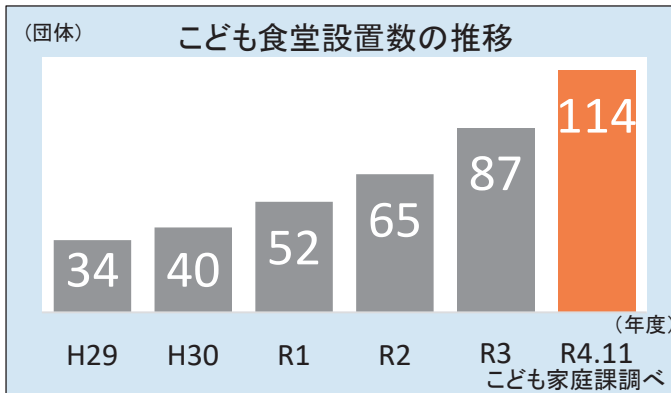
ひとり親家庭等の暮らしの安定のため、就労による自立や子育て・生活を支援しています。

- 県母子家庭等就業・自立支援センター(スマイルセンター)によるひとり親の就業支援



県内全ての小学校区に「こども食堂」の設置を目指して取り組み、設置数が着実に増加しています。

- R4年11月には、114団体がこども食堂を設置(県内189小学校区中、80校区で設置)



空き教室等を利用し、保護者が昼間家庭にいない子どもたち(放課後児童)に遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブ(学童保育)を拡充してきました。

- 施設整備補助による施設数  
H27.5⇒R4.5: 400クラブ(+124クラブ)
- 受入児童数  
H27.5⇒R4.5: 16,504人(+4,064人)
- 放課後児童支援員数  
H27.5⇒R4.5: 1,968人(+745人)



放課後児童クラブで過ごす児童

児童虐待の早期発見・未然防止につながる子どもの預かり事業等を行う市町村が増加しています。

- ショートステイ、一時預かり事業の実施市町村数  
H27: 26市町村⇒R3: 33市町村(+7市町村)
- オレンジリボンキャンペーンの実施市町村数  
H27: 31市町村⇒R3: 39市町村(全市町村)

児童虐待防止に関する県・市町村の体制・対応力強化が進んでいます。

- 子ども家庭総合支援拠点設置市町村数  
R2: 11市町村 ⇒ R4.11: 36市町村(+25市町村)
- 県児童相談所の児童虐待相談対応件数  
R2: 1,761件 ⇒ R3: 1,837件(+4.3%)
- 市町村の児童虐待相談対応件数  
R2: 3,130件 ⇒ R3: 3,045件(▲2.7%)

# もっと良くするために

令和4年3月に制定した「奈良っ子はぐくみ条例」に基づき、ひとり親家庭を含むすべての子育て家庭が自立安定した生活の中で、安心して子どもをはぐくむことができるよう、社会全体で子育て家庭を支援する取組を進めます。

## 多様な主体による子育て支援環境の整備

○「なら子育て応援団」奈良っ子はぐくみキャンペーン事業



「なら子育て応援はぐくみストア」を開設  
電子クーポンにより子育て家庭を応援

## 妊娠期からの切れ目ない子育て支援

○妊娠届出や出産届出を行った妊婦等へ子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援

○親子の交流を図る地域子育て支援拠点や、児童の預かり等を行うファミリーサポートセンターの運営等に対し市町村を支援

## ひとり親家庭等の就労や子育てへの支援

○ひとり親家庭を含む子育て家庭の困りごと等に応じて、支援情報をプッシュ型で提供する子育て支援システム「(仮称)奈良っ子はぐくみセーフティネット」を構築

○「ひとり親コンシェルジュ」の設置

## 安心・安全なこども食堂の普及

○こども食堂の参加者の利用料を無料にするため要した経費を補助し、子どものはぐくみ活動を支援する「こども食堂」奈良っ子はぐくみキャンペーン事業

○県こども食堂コーディネーターによるこども食堂への支援の強化



安心・安全こども食堂  
認証制度



こども食堂

## 男女がともに支え合う家庭生活の実現



奈良県パパ産休プロジェクト



## 放課後児童クラブの施設・運営の充実

○放課後児童クラブ施設整備の支援

○保育人材バンクで保育士と指導員を対象に求人求職のマッチングを行い、指導員確保を支援

○要支援児対応のための、指導員資質向上(専門性向上)研修を実施



放課後児童クラブで過ごす児童

## 市町村等と連携した子どもと家庭への支援

○支援者を対象とした研修会の開催

○市町村における母子保健と児童福祉の一元的なマネジメント体制構築の支援

## 児童虐待の早期発見・未然防止

○オレンジリボンキャンペーン等による児童虐待未然防止啓発

## 社会的養護の充実

○養子縁組をあっせんする民間団体への支援

○児童養護施設におけるケア単位の小規模化及びファミリーホーム新設の支援

令和5年度予算案 615百万円  
令和4年度2月補正予算案 919百万円

# (34) 就学前児童のはぐくみ

## ここまで良くなってきました

「奈良っ子はぐくみ条例」を制定するとともに、就学前教育に関する「奈良っ子はぐくみ基本方針」を策定し、就学前児童のはぐくみを進めています。

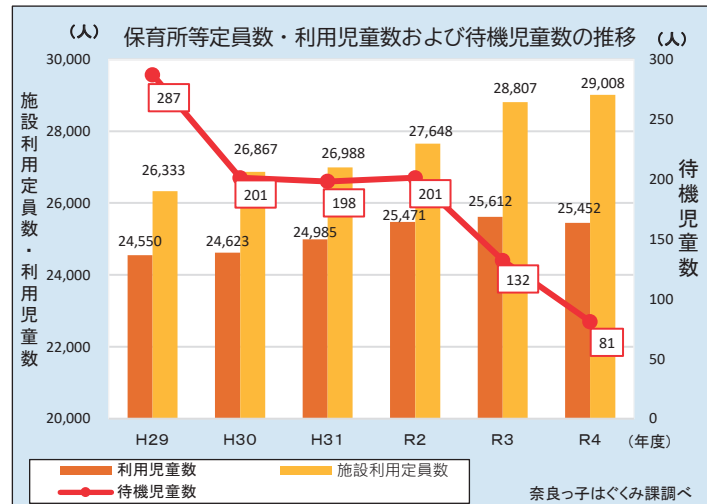
### ○奈良っ子はぐくみ条例

「子どもの健やかなはぐくみ」「経済的困難を抱える家庭への支援」「困難な状況におかれている子どものセーフティネットづくり」、「子育て家庭のあらゆる困りごとの解決」に関する施策を計画的に推進

### ○奈良っ子はぐくみ基本方針

就学前教育を推進するためのツール作成、人材育成、多様な場ではぐくみの展開を推進

保育所等の待機児童数が、5年間で3分の1以下に減少しました。



## もっと良くするために

令和4年に制定・策定した「奈良っ子はぐくみ条例」、「奈良っ子はぐくみ基本方針」に基づき、就学前児童をはじめとする子どものはぐくみをさらに充実します。

奈良っ子はぐくみ基本方針に基づく「奈良っ子はぐくみプロジェクト」の展開



芸術や自然を活用した子どものはぐくみ



食育、インクルーシブ保育の推進



奈良っ子はぐくみロゴマーク

子どもを安心して預けられる受け皿の確保

- 認定こども園や小規模保育事業等の地域の実情に応じた保育施設の整備



保育施設の整備

保育人材の確保・定着支援

- 保育士養成施設学生の修学資金や潜在保育士の就職準備等のための資金貸付
- キャリアパスに基づく体系的な研修実施
- 「保育人材バンク」コーディネーターによる保育人材の就職支援
- 保育現場の業務改善マニュアルを活用した働き方改革の実践



保育士の活動風景



保育人材バンク

令和5年度予算案 841百万円 令和4年度2月補正予算案 18百万円

## (35) 子どもの通学通園路の安全確保

### ここまで良くなってきました

子どもの通学通園路の安全確保のための施策を継続して実施してきました。

R3年、千葉県八街市での事故を受け、県内通学通園路の総点検を実施

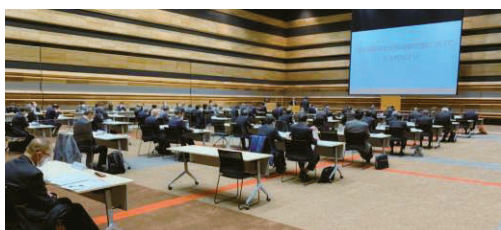
➡ 1,334箇所の対策  
必要箇所が判明

【対策の状況】

R4年3月末：632箇所対策済み

R4年8月末：789箇所対策済み(暫定値)

- 点検結果を踏まえて交通安全施設の整備や交通安全教育を実施
- 市町村長を中心とした組織体制の構築を推進
- 効果的な安全教育の充実



奈良県通学路等安全対策推進会議

過去5年間に県内で発生した子どもの通学通園時の交通事故を分析し、課題を整理して、市町村が対策案を検討する際の一助とするために「奈良県通学路等安全対策推進の手引き」を作成しました。

【小学生】

- ・歩行中に交差点での横断中の事故が多い
- ・低学年(1・2年生)の事故が多い

【中・高校生】

- ・自転車乗車中に交差点での出会い頭の事故が多い

- 「交差点対策」をハード・ソフト両面から充実することをこれからの重点課題として決定

「奈良県通学路等安全対策推進会議」を開催しています。

(令和4年11月、令和5年3月)

### もっと良くするために

「奈良県通学路等安全対策推進の手引き」の効果的な活用による通学通園路の安全確保に向けた対策の推進に取り組めます。

- 通学路等安全対策推進会議
- 各市町村が実施する合同点検への同行や対策メニュー提案
- 市町村等が行う通学通園路等安全確保のための防犯・交通安全設備等整備支援



市町村通学路等合同点検



奈良県通学路等安全対策推進会議

通学通園路の安全対策として、**安全教育の充実**に取り組めます。

- 交差点の安全横断に重点を置いた交通安全教育
- ICTを活用した効果的な安全教育推進
- 未就学児への交通安全教室
- 小学校低学年への交通安全教育充実
- 中・高校生への自転車乗車中における交通安全教育充実
- 教職員対象の安全教育研修



市町村通学路等安全対策推進会議



教職員を対象とした交通安全教育研修会

通学通園路の安全確保のため**交通安全施設の整備**に取り組めます。

- 合同点検結果を踏まえた防護柵の設置、横断歩道の補修・高輝度化等、交通安全施設の整備・更新の推進

令和5年度予算案 368百万円  
[債務負担行為 42百万円]



## 10. 女性活躍の推進

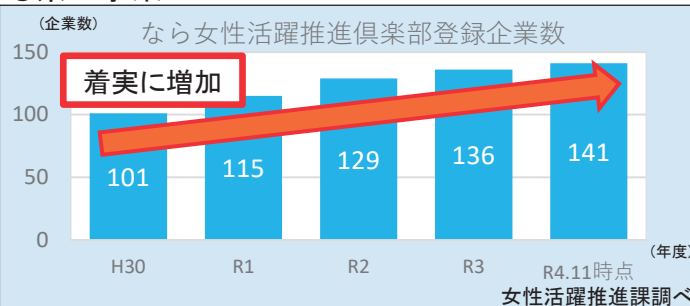
### (36) 希望がかなうジェンダーフリーな社会の実現

#### ここまで良くなってきました

県内の企業・団体等に対して、個別に訪問等を行うことにより登録を働きかけた結果、「なら女性活躍推進倶楽部」登録企業数が着実に増加しています。

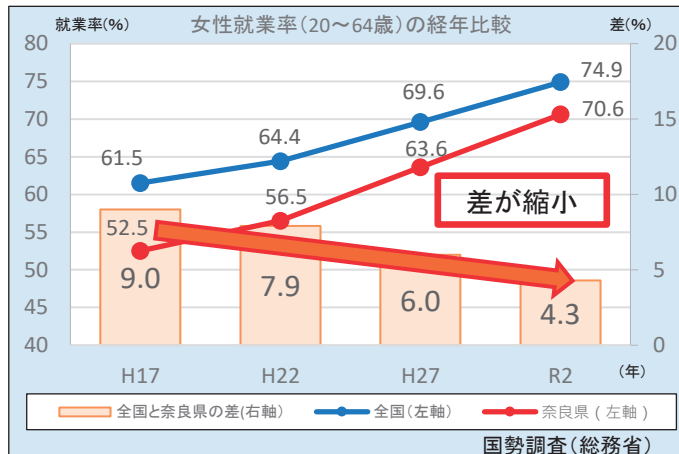
#### 【なら女性活躍推進倶楽部】

男性も女性も働きがいを感じ、生き生きと働き続けることができる職場づくりを目指し、関係団体とともに様々な取組を実施している県の事業



奈良県女性の就業率の前回と比較した伸び率は全国1位であり、全国との差は着実に縮まっています。

○R2は前回(H27)に比べ女性の就業率が大幅に向上し、全国との差も縮小



#### もっと良くするために

「男女でつくる幸せあふれる奈良県計画」に基づき、ジェンダーにとらわれず、仕事でも、生活でも、自分らしく力を発揮し、幸せを感じられる社会づくりの取組を進めます。

#### 県内企業とともに女性活躍を推進

○なら女性活躍推進倶楽部会員企業の魅力発信



倶楽部ポータルサイト 再就職支援ジャーナル

- 会員企業と女性・若者のマッチング支援
- 企業間交流による女性活躍の水平展開
- 女性活躍推進に取り組む県内企業に向けたシンポジウム

#### 女性への暴力防止

○奈良県性暴力被害者サポートセンター「NARAハート」の24時間365日対応

○教員及び若年層を対象とした性暴力に関する普及啓発

○倶楽部会員企業と連携したパープルリボン啓発活動



イオンモール奈良登美ヶ丘でのパープルリボン啓発イベント

#### 男性の働き方・暮らし方改革を推進

○出張型子育て支援情報発信

○なら女性活躍推進倶楽部企業向けセミナー

○「パパ産休」の取得を企業と促進



男性の育児休暇利用イメージ

#### 女性への様々な就労支援

○女性デジタル人材育成プロジェクト

○女性の再就職準備相談窓口

○働く女性相談窓口(女性センター)

○キャリアアップ等に関するセミナー

○「Leapなら」支援団体と連携した起業セミナー

令和5年度予算案 24百万円